第５次総合計画基本構想（案）パブリックコメントの実施結果について

１ 意見提出者数及び意見数　　1人　1件

２ 意見の内容と本市の考え方

番号	受付日時	該当箇所	内　　容	市の考え方
1	平成27年7月16日	P３ ４ 開花プログラム ⑴ア 子どもが健やかに育つために	東京出身の移住者です。 より食の安全等を求めて移住したい方が多くなっている昨今。津山市はより無機質に給食センターを2カ所に集中させ、自給率は低く、化学調味料も使用し、子どもの食育面や健康面からみてもまるでコンビニ食。 申し訳ないですが、現在の津山市の給食には全く魅力を感じません。食育センターとは名ばかりの内容に、がっかりしているお母さん達も周りに数多くおられます。 移住してから移住相談会等で阿波の魅力は語っておりますが、残念ながら津山の魅力を語るのは正直難しいです。 自給率を例えば80%と他地域より抜きん出れば、子育て世代が移住地を選ぶ際、魅力が増し、確実に候補地の1つに選ばれると思います。 現在の移住希望の方々は、食への意識が非常に高いので、同じ岡山県でも、県南の方が給食の自給率が高く、他にも様々な子育て世代の移住者を意識した対策でより魅力的に映っています。 子育て世代対策として幅広く改善するのは無理でも「食育」だけでも特化出来たなら、移住希望者は勿論のこと、市内在住の子育て世代にも喜ばれるのではと思います。	津山市では、子ども達に魅力あるおいしい学校給食を提供するため、安全安心な食材を、安定的かつ安価に調達するとともに、センター化のメリットを活かした計画的な取組みにより、地場産物の積極的な活用に努めております。 今後、一層の推進を図っていくこととしていますが、今回の提案については、まちづくりについての具体的な提案であり、基本計画等を検討する中で、参考とさせていただきます。 ※参考 津山市の学校給食食材に占める地場産の割合（平成26年度） 津山市産　18．5% （米は全量津山産を使用） 岡山県産　46．1% 国内産　　84．6%